



webからすべての  
コーナー分が  
見られます

ちきゅうって たのしい!

# こどもとしぜん

5領域  
10の姿  
との関わり

健

人

環

言

1

3

6

7

8

9

今日の活動のねらい

- ★春の虫や植物に興味を持ち、観察意欲を育む
- ★発見を友達と共有する楽しさを知る

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

こどもとしぜん 4月号  
p.2~11

4月の自然  
よくみて はっけん!  
はるクイズ



活動の内容と流れ

絵本で観察を楽しんでから、実際に屋外へ出て遊ぶ

- こどもとしぜんを読み、発見したことを友達と一緒に話し合う
- 気持ちを高めるため、廃材で虫眼鏡を作る
- 虫眼鏡を外に持って出て、虫や植物を発見して楽しむ
- さんぽずかんを持ち歩き、名前を調べてみる
- クラスの図鑑でより詳しく調べてみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆  
付録のさんぽずかんを一人ずつ  
肩から下げられるようにする

○

「どこが違ってどこが同じか、見  
つけるの楽しいね」「おもしろい  
ね」など、思いや考えが深まる  
言葉をかける



◆  
園内のどの場所に虫がいるのか  
調べておき、子どもたちに促せる  
ようにする

◆  
虫眼鏡作りに必要な  
廃材を集めておく

○

発見が難しい子に対しては、周り  
の友達が伝えてあげられるように  
子ども同士をつなげる

活動後、振り返りのポイント

- ★興味を持ち、観察できたか
- ★違いに気付き、言葉で表現できていたか
- ★知らないことを知る楽しさ、見つけるおもしろさが伝わったか
- ★友達と一緒に意見を伝え合う喜びを感じることができていたか

## 今日の活動のねらい

- ★食事前後のあいさつを知り、食に関心を持つ
- ★生産者や周りの人に感謝の気持ちを育む

活動時間

30分

タイミング

昼食前

## 使う絵本・コーナー

こどもとしぜん 4月号  
p.16~21

社会見学

いただきますって

どうして いうの？



## 活動の内容と流れ

### 食べ物ができる過程を考え、話し合う

絵本を読む前に「いただきます」はどうして言うのか考えて話し合う

→絵本で食べ物のでき方や関わる人をよく観察する

→育ててくれた人、運んでくれた人、料理をしてくれた人、

どんな人に感謝の気持ちを伝えたい？と問いかける

→読後、給食の献立を見て、どこでどんなふうに

育てられたのか考えて話し合う

→おうちの人にも教えてあげてねと促す



## 保育者の◆環境づくりと ○援助

◆  
海、畑、飼育場など、  
カテゴリーに分けて  
考えやすくする

○  
命をいただくという  
ことを伝える

○  
好き嫌いは少しずつ減らせるように  
つけていく（無理強いはいしない）  
感謝の気持ちが食べる気持ちに  
つながるように話す



◆  
自分たちが食べているときの  
ことを思い出せるように、  
給食で座る席に座る

○  
育てたり、捕まえたり、収穫したりと  
たくさんの方の手が関わっていること  
を伝える

○  
保育者からも元気にごあいさつ  
をして、モデルになれるように  
する

## 活動後、振り返りのポイント

★食に関心が持てていたか

★ひとりひとりの食べ方に変化はあったか

★「いただきます」と「ごちそうさま」が習慣化して、昼食のときや  
おやつのときに、大きな声であいさつし、食べようとしているか

## 今日の活動のねらい

★相手の気持ちを知らうとする

★気持ちを言葉にする大切さを知る

活動時間

20分

タイミング

午前中

## 使う絵本・コーナー

こどもとしぜん 4月号  
p.14-15

気持ちを言葉に  
どんな きもち？



## 活動の内容と流れ

絵本を読み、動物にも気持ちがあることに興味を持つ

絵本を読んで、ミナミコアリクイの気持ちを想像して話し合う

→自分だったらどんなポーズをするか考え、話し合う

→「こないて」以外にも気持ちを表すポーズを探す

それを予想してクイズにする



## 保育者の ◆環境づくりと ○援助

◆  
どんな気持ちがあるか  
問いかけ、書き出しておく

◆  
正解はないことを伝え、  
それぞれが思いのままに  
表現できるようにする

○  
子どもがのびのびと表現できる  
ように、発言やポーズについて  
認めたり、他の子どもに伝えたり  
する

○  
人は動物のことを怖がることもあるが、  
逆の場合も多いことに気付かせる

○  
ポーズだけのときと、ポーズと  
言葉があるときと、どちらがどう  
伝わりやすいか問いかけ、言葉で  
表現する大切さを味わうようにする



## 活動後、振り返りのポイント

★ポーズを見て、気持ちを想像できたか

★ポーズだけでなく、言葉を使う大切さを感じることができたか

★優しい言葉を使うことができていくか

★動物は言葉を使えないので体で表現するが、

人は言葉も使えるのでより細かく伝えられることを話す

## 今日の活動のねらい

- ★季節を感じながら、こいのぼりに関心を持つ
- ★色や形に興味を持つ

活動時間

15分

タイミング

こいのぼり制作  
の前

## 使う絵本・コーナー

こどもとしぜん 4月号  
p.22~25

空から発見  
いろんな いろの  
クレヨンかな？



## 活動の内容と流れ

写真を読み取りながら、子どもの日やこいのぼりへの関心を広げる

絵本を読んで、写真から気付いたことをクラスで話し合う

→子どもの日やこいのぼりについて知る

→園のこいのぼりを実際に見に行き、近くと遠くで見え方が違う  
ことに気付く

→読後、こいのぼりの歌や製作活動につなげる



## 保育者の◆環境づくりと ○援助

◆  
事前にこいのぼりを園に飾り、  
関心を持てるようにする

◆  
絵本を見る時間と気付いたことを  
発表する時間を明確に分けること  
で、活動にメリハリを持てるよう  
にする

○  
こいのぼりについて知っていることを  
話しやすいように、子どもたちの  
意見を十分に引き上げる

○  
いろんな色があること、  
どんな色でも良いことから、  
多様性の素敵さに触れる

○  
空を泳いでいるときはどんな  
気持ちかなども聞き、こいの  
ぼりの気持ちになって楽しめる  
ようにする



## 活動後、振り返りのポイント

- ★子どもの日やこいのぼりについて理解ができたか
- ★興味・関心を持つことはできたか
- ★こいのぼりの色や鱗の形、模様などしっかり観察できていたか
- ★友達同士の関わりを深められたか

## 今日の活動のねらい

- ★だるまの術を体験して体の動きに気付く
- ★いろいろな体の動かし方を知り、他の運動につなげる

活動時間

20分

タイミング

午前中

## 使う絵本・コーナー

こどもとしぜん 4月号  
p.26

運動遊び

だるまの じゅつ！



## 活動の内容と流れ

絵本を読んで、どのような姿勢でどこに力を入れると起き上がれるかを実感する

絵本でだるまの術をよく観察する

- 膝を抱きしめて写真のような姿勢をとる
- 足を少し上げて転がらないようにお腹に力を入れる
- ゆっくり後ろにごろんと転がって起き上がる動きをする
- 友達と一緒に楽しく体を動かし、だるまになりきることを楽しむ



## 保育者の◆環境づくりと○援助

◆  
人数に合わせてマットを用意し、1枚に3～4人のグループに分けて順番に行う

○  
人のポーズを見て子どもの気付きが生まれるように、素敵な所を言葉にし、お互いにまねし合おうとする気持ちを育む



◆  
ぶつからずに全体で取り組めるようグループごとの場所に気を配る

○  
うまく起き上がれない子は後ろから補助して、動きの感覚を伝える

○  
楽しかった、難しかった、どちらも良い経験になっていることを伝えて、新しいことに挑戦した勇気を認め、できなくても自信につなげる。

## 活動後、振り返りのポイント

- ★だるまをイメージしながら体をうまく使い、起き上がることができたか
- ★運動が楽しみにになっているか